人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

創立指揮者 渡邉曉雄

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

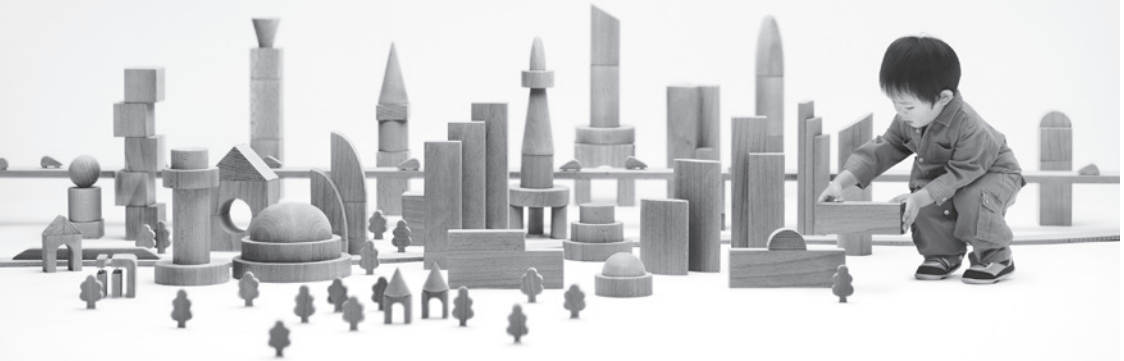
第747回
東京定期演奏会

サントリーホール
2023年1月20日(金)19:00
1月21日(土)14:00

2023
1
JAN

日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
鹿島

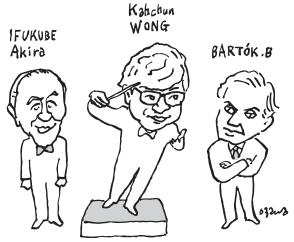
©Angie Kremer

CONTENTS
目 次

- プログラム 4
- 出演者プロフィール 6
- プログラム・ノート- 山崎 浩太郎 - 7
- これからのカーチュン・ウォン公演 10
- 写真プレイバック- 2022年11月12月 - 11
- あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ 12
- Member's TVU CHANNEL 配信一覧 13
- 感動の共有　～ご支援のお願い～ 17
- 日本フィルハーモニー交響楽団　特別会員ご芳名 18
- パトロネージュご芳名 22
- 次回東京定期演奏会 24
- インフォメーション 26
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団　名簿 27

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 747th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第747回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall	2023年1月20日(金)午後7時開演 ／ 21日(土)午後2時開演
	7:00p.m. 20th (Fri.) & 2:00p.m. 21st (Sat.), January 2023

主　　催 ／ **公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団**
協　　賛 ／ **鹿島建設株式会社　三井不動産株式会社**
後　　援 ／ シンガポール共和国大使館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人 日本芸術文化振興会
三菱UFJ信託芸術文化財団

衣装提供 ／ 株式会社カインドウェア
表紙イラスト ／ 小澤 一雄

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- ●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- ●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ●ホール内ではマスク（不織布など効果の確かなもの）を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- ●開演前はなるべくお席でお過ごしください。
- ●会場ロビーでの食事はお控えください。（ホール内は飲食禁止です）
- ●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- ●出演者へのプレゼント（お手紙・お花などを含む）、面会、楽屋入待ち、出待ち等はご遠慮ください。
- ●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。

＊この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ　約30分
IFUKUBE Akira: Sinfonia Tapkaara

休憩（15分）Intermission

バルトーク：管弦楽のための協奏曲　約36分
BARTÓK Béla: Concerto for Orchestra

指揮：カーチュン・ウォン［首席客演指揮者（次期首席指揮者）］
Conductor: Kahchun WONG, Principal Guest Conductor

コンサートマスター：田野倉 雅秋［日本フィル・ソロ・コンサートマスター］
Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：菊地 知也［日本フィル・ソロ・チェロ］
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

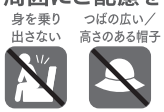
演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

■ 声と拍手にご注意を

■ 周囲にご配慮を



■ 音にご注意を

■ 撮影禁止

©Angie Kremer

Conductor 指揮

カーチュン・ウォン
［首席客演指揮者（次期首席指揮者）］

Kahchun WONG, Principal Guest Conductor

ミュージカル・アメリカ誌で「その音楽性の深さと誠実さ」と評されるシンガポール出身のカーチュン・ウォンは、2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝、その名を世界に知られることとなる。2022年8月までニュルンベルク交響楽団首席指揮者を務め、これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を含む国内外の主要楽団との共演も果たす。

2016/2017年にロサンゼルス・フィルハーモニック ドゥダメル・フェローシップ・プログラムを拝命。また、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学にてオーケストラ/オペラ指揮の音楽修士号を取得。

2019年、33歳という若さでシンガポールとドイツの文化交流並びにドイツ音楽文化の海外普及における献身的な取り組みと顕著な功績により、シンガポール出身の芸術家として初めてドイツ連邦大統領より功労勲章を与えられた。

2021年12月の日本フィルハーモニー交響楽団定期公演で演奏された『マーラー　交響曲第5番』のライブ録音CDが日本コロムビアよりリリースされている。

2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者を務め、2023年9月には同楽団首席指揮者に就任。

プログラム・ノート 解説：山崎　浩太郎

クーセヴィツキーとセヴィツキー、音楽の助産師たちが初演した今日の2曲

セルゲイ・クーセヴィツキー（1874-1951）とファビエン・セヴィツキー（1893-1967）。叔父と甥にあたるという二人はロシア出身、ともにコントラバスの名手で、後に指揮者となってアメリカで活躍した。

ファビエンも、本当の姓はクーセヴィツキーなのだが、二人が1924年からアメリカを拠点として活動するようになったとき、混同されるのを嫌った叔父に命じられて「クー」を取り、セヴィツキーになったという。

大富豪の娘と結婚したクーセヴィツキーは、モスクワやパリでオーケストラや出版社をつくり、同時代の作曲家の創作活動を支援した。最も有名な例は、ムソルグスキーのピアノ曲を、ラヴェルにオーケストレーションしてもらった《展覧会の絵》である。渡米後もその活動は続き、バルトークの《管弦楽のための協奏曲》も彼の委嘱で生まれ、初演された。

これに対して、インディアナポリス交響楽団のシェフとなったセヴィツキーは、日本からファンレターを送ってきた若い伊福部昭を励まし、その出世作となった《日本狂詩曲》を作曲させた。そして伊福部から献呈されたこの曲を、完成翌年の1936年にボストンで初演している。

第2次世界大戦をはさんでも、セヴィツキーの伊福部への関心は変わらなかった。《シンフォニア・タプカーラ》の初演を引き受けたことが、その証明である。

このように、新作に生命を吹き込むことは指揮者の大切な仕事だが、旧作から新たな魅力を引き出すのも、同じように指揮者の重要な役割である。

今日は、どんな音楽が生まれてくることだろう。さまざまな楽器がソロで登場する2曲だけに、楽員たちの活躍も楽しみだ。

◆ 伊福部昭：シンフォニア・タプカーラ

伊福部昭（1914-2006）は、大正3年に北海道の釧路に生まれた。9歳のときに十勝の音更（おとふけ）村の村長となった父とともに同地に移り、旧制中学に入学するために札幌に移るまでの3年間を過ごした。音更ではヴァイオリンを兄から教わる一方で、アイヌの人々と交流して、その音楽にも接した。

このときの経験が3楽章からなる交響曲、《シンフォニア・タプカーラ》に活かされている。タプカーラとはアイヌの酒宴で行なわれる、歩きながら地面を強く踏みならす舞踏のことで、第3楽章の舞曲のリズムに反映されている。

1941年に作曲され、翌年に初演されながら、総譜が米軍の空襲により焼失し

た《ピアノと管絃楽のための協奏風交響曲》のスケッチを元に、1954年に新たに作曲した。原曲の協奏風交響曲の素材からは《ピアノと管絃楽のためのリトミカ・オスティナータ》(1961年)もつくられているので、両者は姉妹曲ということになる。この作品は2022年5月の第740回東京定期演奏会で演奏されたばかりなので、ご記憶の方も多いだろう。なお、協奏風交響曲も1997年にパート譜が発見され、復元されているので、現在は聴きくらべることも可能である。

《シンフォニア・タプカーラ》は、札幌の中学時代からの友人で、伊福部に作曲をすすめた音楽評論家の三浦淳史(1913-97)に献呈されている。1955年1月にファビアン・セヴィツキー指揮のインディアナポリス交響楽団により、アメリカのインディアナポリスで世界初演された。1979年に改訂されており、改訂版は1980年4月に、芥川也寸志指揮の新交響楽団によって東京で初演されている。

第1楽章　レント・モルト〜アレグロ

弦楽による重々しく悲劇的な旋律で開始される。この旋律が第1主題で、テンポを速めて勇壮なアレグロの主部となる。弱音器をつけたトランペットにより、ゆったりした第2主題が提示される。冒頭部の再現をへて、足を踏みしめるようなアンダンテ、ホルンとチェロのソロのカデンツァから、推進力のあるアレグロに戻って終わる。

第2楽章　アダージョ

三部形式の緩徐楽章。音更での少年時代、眠りにつこうとしたときに外から聞こえてくる風や鳥の自然の音を描写したものという。イングリッシュ・ホルンのソロで始まる中間部では心の昂りが示される。

第3楽章　ヴィヴァーチェ

快活な舞曲に始まり、オーボエが導く中間部では歌いはやしながら舞うようなカノンとなる。独奏ヴァイオリンなどさまざまな楽器がソロで活躍しながら、次第に狂騒の度を高め、クライマックスを迎える。

楽器編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、トムトム、小太鼓、ティンバレス、ギロ、弦楽5部。

使用楽譜:「東京音楽大学付属図書館ニッポニカ・アーカイヴ・コレクション」

◆ バルトーク:管弦楽のための協奏曲

ハンガリーの作曲家ベラ・バルトーク(1881-1945)は、母国の民謡を収集して自作に採り入れ、独特の苦味と暴力性、神秘性をもち、しかし生命力豊かな、独創的な音楽をつくりだした。長くハンガリーを拠点に活動したが、第2次世界大戦勃発を期に、1940年にアメリカに移住した。新しい環境になじめず創作活動は停滞、健康も害したが、ボストン交響楽団の首席指揮者セルゲイ・クーセヴィツキーから新作を委嘱されて意欲を取り戻した。そして1943年に完成されたのが、管弦楽のための協奏曲である。翌年12月にクーセヴィツキーとボストン交響楽団によって初演された。

管弦楽のための協奏曲、という形式はバロック時代の合奏協奏曲を原型としている。オーケストラ内のさまざまな楽器がソロをとり、交代していく。どのソロもあまり長くなく、ひんぱんに入れ替わる。室内楽のように小編成で演奏する部分も多い。全体としてみると、特定の楽器だけがスターとして際立つことはない。その意味で文字通りの管弦楽のための協奏曲であり、民主的な協奏曲ということもできるかもしれない。1920年代、バロック時代の作品を手本にして、新たな創作の道を求めた新古典主義の時代に登場した。現代にいたるまで、さまざまな作曲家によって書かれ続けているが、バルトークの作品はそのなかでも最も有名で、演奏機会の多い名作である。

第1楽章　序章　アンダンテ・ノン・トロッポ〜アレグロ・ヴィヴァーチェ

序奏付きのソナタ形式。神秘的な序奏が低弦によってゆっくりと始められる。悲劇的な緊迫感が高まったところで、弦楽合奏でアレグロ・ヴィヴァーチェの主部に入る。躍動的な第1主題と、オーボエに導かれるゆったりとして愁いをもった第2主題が対照される。展開部は第1主題が、再現部では第2主題が存在感をもち、力強い金管合奏で結ばれる。

第2楽章　対の提示　アレグロ・スケルツァンド

三部形式のスケルツォ的な間奏曲。小太鼓のリズムに続いて、さまざまな管楽器が対をなして登場する。金管のコラールが中間部として挿入され、最後に小太鼓が回帰する。

第3楽章　悲歌　アンダンテ・ノン・トロッポ

静かで謎めいた雰囲気で始まる緩徐楽章。A-B-C-B-Aの5部形式で、Bでは第1楽章の序奏の主題が再現される。

第4楽章　中断された間奏曲　アレグレット

バルトーク本人による初演プログラムの解説ではA-B-A-中断-B-Aとなっている。木管群のからかうようなA、弦による堂々としたBに続き、「中断」の箇所ではショスタコーヴィチの交響曲第7番《レニングラード》の第1楽章の展開部の主題(元々はレハールの喜歌劇《メリー・ウィドウ》の〈マキシムに行こう〉のパロディと考えられている)が引用されるが、クラクションのような響きで中断されると、トロンボーンのグリッサンドによる「ブーイング」と木管の「嘲笑」に何度もさらされる。短いが、バルトークの暗いユーモアのセンスが発揮された楽章。

第5楽章　終曲　ペザンテ〜プレスト

ホルンの重々しい響きに続いて、弦楽群が堰を切ったような勢いで、フーガのようにからみ合いながら疾駆する。さまざまな楽器に受け継がれ、途中でいったんテンポを落とすが、再び勢いを増してコーダに突入する。初演時のコーダは短く唐突に終わるものだったが、楽譜を出版するさいにはより長いコーダに改訂され、両者が併記されている。演奏効果が上がることから、改訂版のコーダを用いるのが一般的である。

楽器編成:フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット3(バス・クラリネット持替1)、ファゴット3(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、ハープ2、弦楽5部。

これからの カーチュン・ウォン公演

第384回 横浜定期演奏会　横浜みなとみらいホール

2023年 1月28日(土) 17:00開演

1回券料金 S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C ¥5,000　P 完売　Ys(25歳以下) ¥1,500

第244回 芸劇シリーズ　東京芸術劇場

2023年 1月29日(日) 14:00開演

1回券料金 S ¥7,000　A ¥5,500　B ¥5,000　C ¥4,000　Gs(65歳以上) ¥4,000　Ys(25歳以下) ¥1,500

ピアノ:**小菅 優**
ラフマニノフ:**ピアノ協奏曲第3番**
ラフマニノフ:**交響曲第2番**

©Takehiro Goto

第750回 東京定期演奏会　サントリーホール

2023年 5月12日(金) 19:00開演　5月13日(土) 14:00開演

チェロ:**佐藤 晴真**
ミャスコフスキー:**交響曲第21番《交響幻想曲》**
芥川也寸志:**チェロとオーケストラのために《コンチェルト・オスティナート》**
ヤナーチェク:**シンフォニエッタ**

©Tomoko Hidaki.

1回券料金 S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys(25歳以下) ¥1,500

お申込み　**日本フィル・サービスセンター　TEL:03-5378-5911**(平日11時-17時)
eチケット♪　eticket.japanphil.or.jp

Playback プレイバック

11月12月の公演を振り返ります

©林喜代種

PHOTO 1　11月の最初は、コバケン・ワールド、芸劇シリーズ、どりーむコンサート(府中)と3日間小林マエストロとご一緒しました。宮田大さんによるドヴォルジャークのチェロ協奏曲(11/3、6)、交響曲第8番、《新世界より》(11/5)*というドヴォルジャーク尽くしプログラムをお届けいたしました!

©山口 敦

PHOTO 2　11月東京定期は、初めてフランソワ・ルルーさんとご一緒しました。指揮にオーボエにと大活躍のルルーさん。とても幸せな音楽の時間でした。我らがチーム・オーボエもしっかりサインを頂きました(その後ろにも長い列が)*

PHOTO 3　リニューアルした横浜みなとみらいホールに戻っての11月横浜定期演奏会。指揮の角田鋼亮さんとシンフォニーヒルズ少年少女合唱団の皆さんと共に、《くるみ割り人形》全曲をお届けしました。クリスマスへ向け気分が盛り上がってきます

PHOTO 4　指揮の下野竜也さん渾身の12月東京定期演奏会プログラム。会場でご一緒に体感していただいた皆様ありがとうございました。フィンジ《武器よさらば》のソリスト糸賀修平さんとコンサートマスター扇谷泰朋さんとマエストロのスリーショットをどうぞ

©山口 敦

PHOTO 5　日本フィル第九特別演奏会2022。無事に2022年もお届けすることができました。ありがとうございました。そして、今年もどうぞよろしくお願いいたします!*

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
https://members.tvuch.com

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ

様々な壁を乗り越えて“夢舞台”で共演

「被災地に音楽を」の活動から発展した「東北の夢プロジェクト」は、東北から文化芸術を発信し子どもたちの夢と笑顔を応援するため2019年にスタート。コロナ禍による活動制限、2022年3月の福島県沖地震で公演を予定していたホールの被災など、困難な状況が度重なりましたが、2023年1月8日、ついに「東北の夢プロジェクトin福島」の実現にこぎつけました。日本フィルと共演する現地団体を事前訪問した様子をお届けします。

＜東北の夢プロジェクト　https://japanphil.or.jp/blog/tohokuyumeproject＞

Topics1　南相馬市立原町第一中学校吹奏楽部との絆（2022年10月）

原一中と日本フィルの出会いは2012年に遡ります。日本フィルの本拠地である杉並区が南相馬市と災害協定を結んでいることが縁で、震災直後から市内で演奏活動を行ってきました。そして翌年には原一中吹奏楽部での楽器指導を実施。それから10年以上、交流を続けてきました。

近年は吹奏楽部の定期演奏会での共演も重ね、2022年10月に3回目の共演を果たしました。10月の3日間の滞在では、楽器指導・合同リハーサル・本番と濃密な時間を過ごし、わずかな時間のなかでも中学生たちが奏でる音に変化を感じることができました。日本フィルからは、管楽器・弦楽器・ピアノを含む本格的な室内楽のステージを届け、吹奏楽部のメンバーだけでなく、演奏を聴いてくださった地域の方々と音楽を通じて繋がる瞬間を共にすることができました。

Topics2　郡山合唱塾との出会い（2022年12月）

「郡山合唱塾」は2019年に郡山市内の中学校・高校の垣根を超え結成された合唱団です。結成間もなくコロナ禍で活動が途絶えていましたが、「東北の夢プロジェクトin福島」の開催を契機に活動が再開しました。

本プロジェクトには、「１日限りの共演で終わらせるのではなく、公演をきっかけに活動を活発化させて日々のエネルギーにつなげて欲しい」という想いも込められており、本番に先駆けて指揮の永峰大輔さん、案内役の江原陽子さん、日本フィルOBの松本克己（ヴァイオリン）、伊波睦（日本フィルワークショップ・デザイナー）の4名が現地を訪れました。

冒頭は伊波のリードで全員で輪になって歌い、心と体をほぐし、緊張がとけたところで今回共演する≪群青≫の練習に移りました。日頃「言葉」を大切にしながら練習しているという子どもたち。永峰マエストロの熱のこもった指揮に応えるように、一つ一つの言葉をお客様に届けるため丁寧に歌います。思うように活動できなかったもどかしさ、悔しさをバネに、本番では息の合ったハーモニーを響かせてくれることでしょう。

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

https://members.tvuch.com

Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます（販売期間は6ヶ月です）。

まずはID登録！ メールアドレスとパスワードのみで簡単！

9月3日	東京定期演奏会	指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:田野倉 雅秋
貴志康一:ヴァイオリン協奏曲　ウォルトン:交響曲第1番		
9月16日	さいたま定期演奏会	指揮:小林 研一郎 ピアノ:河村 尚子
ブラームス:ピアノ協奏曲第1番　チャイコフスキー:交響曲第4番		
10月22日	東京定期演奏会	指揮:ピエタリ・インキネン
ベートーヴェン:交響曲第8番、第7番		
11月5日	芸劇シリーズ	指揮:小林 研一郎
ドヴォルジャーク:交響曲第8番、第9番《新世界より》		
11月12日	さいたま定期	指揮:沼尻 竜典 ヴァイオリン:服部 百音
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲　ブラームス:交響曲第4番		
11月18日	東京定期演奏会	指揮・オーボエ:フランソワ・ルルー
ドヴォルジャーク:管楽セレナーデ*　ドヴォルジャーク:《伝説》より第1曲、第8曲、第3曲		
モーツァルト:オーボエ協奏曲*　ビゼー:交響曲第1番　*吹き振り		
12月22日	第九特別演奏会2022	
指揮:小林 研一郎 ソプラノ:小川 栞奈 アルト:山下 牧子 テノール:錦織 健 バリトン:大沼 徹 合唱:東京音楽大学 オルガン:石丸 由佳		
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》他		
12月27日	第九特別演奏会2022	
指揮:小林 研一郎 ソプラノ:市原 愛 アルト:山下 牧子 テノール:笛田 博昭 バリトン:青山 貴 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団 オルガン:石丸 由佳		
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》他		
1月20日	東京定期演奏会	指揮:カーチュン・ウォン
伊福部昭:シンフォニア・タプカーラ　バルトーク:管弦楽のための協奏曲		
1月29日	芸劇シリーズ	指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小菅 優
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番、交響曲第2番		

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

三井不動産
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。

日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より

春休みオーケストラ探検より
楽器体験

公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
http://www.suginamikoukaidou.com/
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。
しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長　平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額　を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】
三菱UFJ銀行　高円寺支店（支店コード：155）
普通預金　0242402
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

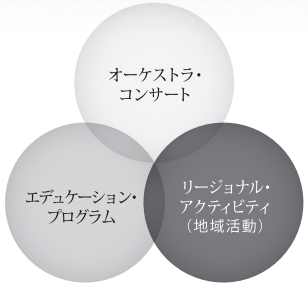
日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有
日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。（敬称略）

パトロネージュ　植村 昭三　東京都 ／ 大上 二三雄　東京都 ／ 大久保 昇　神奈川県 ／ 小林 和夫　東京都
須賀 克敏　神奈川県 ／ 東瀬 朗　新潟県 ／ 布村 清美　東京都 ／ 日髙 好男　東京都
吉田 知世　東京都　匿名1名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

パトロネージュ［個人寄付会員］

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費：3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待（1割引）など様々な特典があります。
年会費：1万円

特別会員［法人寄付］

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ：日本フィル事務所　TEL03-5378-6311（10-18時、土日祝日休）

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 舩越 真樹
株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静
あすか製薬株式会社 代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司
株式会社アール&キャリア
代表取締役社長 飯嶋 一晃
イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世
株式会社泉商会 代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社 相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォマート 代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二
株式会社ＡＩＴ 代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社 代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル＆パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂
株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫
NGB株式会社 代表取締役社長 宮﨑 潔
エヌビーエス株式会社 代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

株式会社岡三証券グループ 取締役会長 加藤 哲夫
小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦
株式会社カカクコム 代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄
鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎
株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社
取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
キヤノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗冨士夫
キユーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 髙宮 満
株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典
株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次
グリーン・サポート・システムズ株式会社
代表取締役 笛木 彰
グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス 取締役社長 浅野 義行
京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛
株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史
三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸
ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社 取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一
昭和電工ガスプロダクツ株式会社
代表取締役社長 平倉 一夫
昭和電工株式会社 代表取締役会長 森川 宏平
ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也
新菱冷熱工業株式会社 代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹
株式会社杉江商店 代表取締役 杉江 寛
杉山商事株式会社 取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社 代表取締役社長 石川 英治
第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一
株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英
大日本塗料株式会社 代表取締役社長 里 隆幸
大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 森岡 寛司
千代田化工建設株式会社
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
株式会社千代田テクノル 代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカ ケンメイ
DM三井製糖株式会社
株式会社ティーガイア 代表取締役社長 石田 將人
学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史
THK株式会社 代表取締役社長 寺町 彰博
ＴＩＳ株式会社 代表取締役社長 岡本 安史
株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 榑谷 典洋
東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 広瀬 伸一
株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区 区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社　代表取締役会長　今井　雅則
トヨタ自動車株式会社　代表取締役社長　豊田　章男
株式会社永田音響設計　代表取締役社長　小口　恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長　永谷栄一郎
株式会社ナミキ　代表取締役会長兼社長　並木　洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO　清水　竜一
日鉄興和不動産株式会社　代表取締役社長　今泉　泰彦
株式会社ニフコ　代表取締役会長　山本　利行
日本精工株式会社　取締役会長　内山　俊弘
日本製鉄株式会社　代表取締役社長　橋本　英二
日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長　栗原権右衛門
日本パーカライジング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長　長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長　萩原　吉晃
根本特殊化学株式会社　代表取締役社長　根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO　奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員　矢原　史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長　浦上　博史
株式会社博報堂　代表取締役社長　水島　正幸
ハナマルキ株式会社　代表取締役社長　花岡周一郎
パンパシフィック・カッパー株式会社
代表取締役社長　堀　一浩
阪和興業株式会社　代表取締役社長　中川　洋一
東日本住宅株式会社　代表取締役　桃野　直樹
非破壊検査株式会社　代表取締役社長　山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長　清水　雄也

富国生命保険相互会社　代表取締役社長　米山　好映
富士急行株式会社　代表取締役社長　堀内光一郎
富士テレコム株式会社　代表取締役社長　西田　孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社　代表取締役社長　横田　敦彦
合同会社ベルファーマシー　代表社員　前島　景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長　池田　孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長　吉村　隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長　三部　敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長　宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役　松本　大
株式会社丸井グループ　代表取締役社長　青井　浩
株式会社丸の内よろず　取締役社長　中村　正博
丸美屋食品工業株式会社　代表取締役社長　阿部豊太郎
三井情報株式会社　代表取締役社長執行役員　浅野　謙吾
株式会社三井住友銀行　頭取CEO　髙島　誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長　古賀　博文
三井物産株式会社　代表取締役社長　堀　健一
三井不動産株式会社　代表取締役社長　菰田　正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長　飯嶋　庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問　石塚　邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員　柳井　隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長　中野　智

三菱ガス化学株式会社　代表取締役社長　藤井　政志
三菱地所株式会社　執行役社長　吉田　淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者　加藤　隆雄
三菱重工業株式会社　取締役社長　泉澤　清次
三菱倉庫株式会社　相談役　宮崎　毅
株式会社三菱UFJ銀行　頭取　半沢　淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO　小林　真
武蔵商事株式会社　代表取締役　宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長　永島　英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役　塩見　紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役　谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長　我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長　牧　寛之
森社会保険労務士事務所　所長　森　康之
株式会社ヤクルト本社　相談役名誉会長　堀　澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
特別顧問　神田　晴夫
UBE株式会社　取締役会長　山本　謙
ユウキフーヅシステム株式会社
代表取締役　田中　秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社　代表取締役　米持　大介
リガク・ホールディングス株式会社
取締役会長　志村　晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員　稲葉　和彦

株式会社Rings　代表取締役　矢部　和広
株式会社リンレイ　代表取締役社長　鈴木　信也
株式会社LEOC　代表取締役会長兼社長　小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員　松本　功

匿名5名

（2023年1月1日現在・50音順・敬称略）

パトロネージュご芳名

会田　雅美　東京都
浅野　純次　埼玉県
朝吹　英和　東京都
厚田　理郎　東京都
阿部　俊彰　神奈川県
荒井　昇　東京都
荒木　秀隆　東京都
荒蒔康一郎　東京都
有江　純子　神奈川県
有手　千麻　埼玉県
安藤　光一　東京都
飯田　桂子　東京都
飯田　惠司　東京都
飯田　憲　東京都
家近　茂　東京都
家近　信子　東京都
五十嵐重雄　東京都
池浦　慧　東京都
池田　博　東京都
池野　隆光　東京都
池谷　光司　東京都
伊佐山建志　東京都
石澤　卓志　千葉県
石塚　邦雄　東京都
石橋　秀雄　神奈川県
伊藤　貴博　東京都
伊東　宏恭　神奈川県
伊藤　昌司　東京都
井上　俊信　埼玉県
井上　直人　東京都
井上　浩良　東京都
岩瀬　順子　神奈川県
岩田　達明　静岡県
上野悦子・陽子　東京都
植村　昭三　東京都
宇賀神裕子　神奈川県
臼井　潤　東京都
内村　恒彦　神奈川県
江口　和廣　東京都
江口　麗子　東京都
遠藤　滋　神奈川県
大石　直輝　山梨県
大上二三雄　東京都
大久保　昇　神奈川県
大熊美結紀　東京都
大島　剛　埼玉県
大竹　広明　神奈川県
太田　五郎　神奈川県
太田　達男　千葉県

大塚　宣夫　東京都
大藤　裕康　埼玉県
大森　京太　東京都
岡本　晋　東京都
岡田　尚子　埼玉県
岡田　雅史　神奈川県
奥林　群司　東京都
尾澤　弘久　神奈川県
尾上　洋子　東京都
小野寺けい子　岩手県
小野寺健一　岩手県
小幡　尚孝　東京都
小原　道生　東京都
折田　正樹　東京都
風間　沙織　神奈川県
賀澤　裕三　福島県
鹿島　英裕　東京都
片貝　英重　東京都
片山　英二　東京都
桂　史子　東京都
加藤　壹康　静岡県
加藤　丈夫　東京都
加藤ひろみ　東京都
加藤　洋一　東京都
加藤　頼宣　東京都
金子　修　埼玉県
金子　肇　千葉県
上條　貞夫　東京都
上條　淑子　東京都
香山　和子　神奈川県
川合　孝一　千葉県
川畑　雅義　東京都
河田　義宏　東京都
菅野　治幸　神奈川県
菊池　和美　東京都
喜多垣久江　東京都
北村　篤嗣　埼玉県
北村　裕　神奈川県
木村　惠司　神奈川県
桐本　明子　東京都
草刈　隆郎　東京都
久野　哲男　千葉県
熊谷　朝子　東京都
倉谷　宏樹　東京都
栗原真知子　埼玉県
畔柳　信雄　東京都
甲賀　一宏　埼玉県
好士﨑稔子　東京都
胡口　靖夫　東京都

児玉　敏宏　東京都
児玉　玲子　東京都
小林　和夫　東京都
小林こずえ　東京都
小林　裕美　東京都
小林　容子　東京都
駒見　俊彦　東京都
五味　康昌　神奈川県
酒井　伸　長野県
酒巻　英俊　東京都
定形　哲　神奈川県
佐藤　武男　東京都
佐藤　寛之　東京都
佐藤　正昭　東京都
座間　淑美　神奈川県
澤井　敏雄　東京都
柴田　栄一　東京都
島田　精一　東京都
島田　晴雄　東京都
清水　幸雄　東京都
下河辺美知子　東京都
下田　英一　東京都
生島　貴司　千葉県
新庄真帆子　大阪府
晋友会合唱団　東京都
須賀　克敏　神奈川県
菅　千太郎　東京都
杉山　秀子　東京都
杉山　浩明　東京都
鈴木　昌子　神奈川県
鈴木　庸夫　東京都
鈴木　祐二　東京都
住野　公一　東京都
関　兼英　東京都
妹尾　絲子　東京都
仙石　通泰　東京都
宗　神子　大分県
染野　郁郎　東京都
高井　延幸　神奈川県
高木　宏忠　東京都
高須　幸雄　東京都
高田　信子　東京都
高橋　信喜　東京都
武岡　哲郎　東京都
竹中富知男　東京都
田中稀一郎　東京都
田中　宏征　兵庫県
田仲　博幸　東京都
田中　將介　神奈川県

田辺三基男　東京都
田村　一　山梨県
田村　浩章　東京都
塚本　和久　東京都
塚本　美幸　東京都
辻　雅夫　東京都
蔦井　厚伸　東京都
津田　義久　東京都
常石　博之　東京都
角田　峻一　東京都
坪井　和音　東京都
積田　孝一　東京都
d日本フィルの会
寺澤　佳代　東京都
東京フロイデ合唱団
東京都
東瀬　朗　新潟県
時枝　直満　東京都
徳田　俊一　東京都
徳田　陽一　東京都
外山　雄三　東京都
中尾　誠利　神奈川県
ナガオカケンメイ　東京都
中島　奈穂　東京都
中島美知子　東京都
長瀬　雅則　東京都
中園　和博　東京都
仲田　喜義　東京都
中西　泉　東京都
永野　明宏　千葉県
永野　琢夫　東京都
中村　公一　東京都
中村　禎良　東京都
中本　逸郎　東京都
那須　雄治　東京都
棗　年紀・綾　東京都
新倉　啓介　東京都
西澤　豊　東京都
西村　敬子　京都府
西村　醇子　神奈川県
日本フィルハーモニー
協会所沢支部
埼玉県
二村　英之　東京都
布村　清美　東京都
沼口　元彦　東京都
根本　直之　千葉県
野谷　文昭　東京都
箱崎　一彦　千葉県

蓮見　正純　東京都
羽田　洋子　神奈川県
濱田　尚人　東京都
林　一郎　東京都
原　宏輔　東京都
原　俊　千葉県
原　幸男　静岡県
針谷　博史　東京都
日髙　好男　東京都
平井　邦子　神奈川県
平田　邦夫　神奈川県
平田　正　神奈川県
平林　直哉　東京都
広瀬　勝貞　大分県
広瀬　晴子　神奈川県
深沢　茂実　神奈川県
福井　英次　東京都
福田　昭夫　東京都
藤井　裕一　東京都
藤沢　薫　東京都
藤本由紀子　東京都
藤原　真也　東京都
古瀬　明弘　東京都
星　桂太朗　東京都
前田　耿史　神奈川県
前田圭一郎　千葉県
牧野　澄夫　東京都
正木　信汎　東京都
増田　文彦　神奈川県
松尾　東京都
松田　孝裕　埼玉県
松田　譲　東京都
松本　信義　東京都
三木恵美子　神奈川県
三木　繁光　東京都
峯島　茂之　東京都
宮川　輝男　千葉県
宮本　裕二　兵庫県
武藤　雄二　埼玉県
村上　純子　埼玉県
村上　洋美　東京都
村上　泰郎　東京都
持田　泰　東京都
元永　徹司　神奈川県
森　稔樹　神奈川県
森　宏之　神奈川県
森川　智之　神奈川県
八木　一郎　山梨県
矢口　敏和　千葉県

矢倉　俊紀　東京都
谷野　剛　東京都
山上　典彦　東京都
山口　幸子　東京都
山口　仁栄　東京都
山口　達之　長崎県
山口みどり　東京都
山越　章弘　長野県
山下　芳広　北海道
山田　敏之　神奈川県
山田　宏己　東京都
山村　隆　東京都
山村　美絵　東京都
山本　高稔　東京都
油井　直次　東京都
横川　直　東京都
吉川　美保　東京都
吉田　知世　東京都
吉谷恵美子　神奈川県
吉村　真幸　埼玉県
吉村　匡則　東京都
若林　昭子　東京都
渡辺　敦郎　東京都
渡辺　和子　東京都
渡邉規久雄　東京都
渡邉　直　東京都
渡邉　裕志　山口県
M.K.
匿名64名

（2022年12月30日現在
50音順・敬称略）

NEXT CONCERTS
〉〉次回東京定期演奏会

第748回

サントリーホール

2023年3月3日(金)19:00開演
4日(土)14:00開演 「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:20〜

リストへの愛と、神の光を感じる《英雄》が聴き手の心を高揚させる

1回券料金	S ¥8,000　A ¥6,500　B ¥6,000　C 完売　P ¥4,000　Ys (25歳以下) ¥1,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引きがございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手　伊熊 よし子

国内外で活発な活動を展開している指揮者の小林研一郎(愛称コバケン)が、日本フィルハーモニー交響楽団の東京定期演奏会で、リストのピアノ協奏曲第1番とベートーヴェンの交響曲第3番《英雄》というプログラムを披露する。その選曲についてお話を伺った。

「リストのピアノ協奏曲第1番のソリストとして登場する金子三勇士は、子どものころからよく知っています。これまで何曲も演奏を聴かせてもらっていますが、彼は日本とハンガリーの血を引く特殊な感性の持ち主で、その感性がリストを通して独特な光を放つと思います。今回も、おそらく白熱した演奏が生まれるのではないかと期待しています」

リストのピアノ協奏曲第1番は4楽章構成で、全体は連続して演奏される。

「この協奏曲は人々をけっして飽きさせることのない、リストの最高傑作のひとつだと思います。絢爛豪華な第1楽章、同時代のショパンを思わせるノスタルジックでデリケートな趣の第2楽章、飛び跳ねるような第3楽章、自由で華やかな第1楽章の展開部ともいえる第4楽章と、いずれもリストならではの曲想に満ちています」

そのリストとの組み合わせは、ベートーヴェンの交響曲第3番《英雄》である。

「ベートーヴェンは幼いリストのピアノを聴き、素敵な演奏だといって彼を抱き上げたという記録が残っています。2曲とも変ホ長調で書かれていますし、今回はこうした意味合いをもつ曲を組み合わせてみたかったのです。《英雄》はベートーヴェンが天啓を得て書いたのではないかと思えるほど、神様の光を感じます。人類に降り注ぐ特殊な神の光。とりわけ第2楽章のハ短調のシンプルで、人の心を深くえぐるようなところが印象的。この作品は現代音楽の先駆けというか、現代音楽への道を拓いてくれたものだと思っています。ベートーヴェンがその道を示唆してくれたのに、のちに続く人々は残念ながらそれを確実な形で受け継ぐことができませんでした。悲しいです。」

コバケンさんは、東京藝術大学の作曲科在籍中にこの作品と出会っている。

「ベートーヴェンは、私に作曲ではなく演奏する側に導いてくれました。《英雄》には思い出が数多くあり、特にオランダのネーデルラント・フィルとは長年に渡りこの作品を演奏し、アムステルダム・コンセルトヘボウのすばらしい響きのなかで共に音楽を作り上げたことは忘れがたい記憶となっています。あのホールは音響が特別で、響きが絶妙に空気と溶け合っていく。前の音がまだ残っているところに次の音が融合し、えもいわれぬ音の世界が広がっていくのです。そうした場所で《英雄》は何度も演奏しました。私にとって、この曲は音作りの“ひとつの礎”となっています。今度はサントリーホールで作品をどのように響かせるかと考えると、心が高揚する思いです。皆様には、ひとつひとつの音を胸に閉じ込めていただけるとうれしい!」

2023年1月にはハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団の来日公演も予定され、その指揮も楽しみにしていると熱く語る。

「久しぶりに日本のみなさまにハンガリー国立フィルの演奏を聴いていただくことができます。いまはどんな音楽を届けることができるか、その思いが心のなかで脈打っています。楽譜を深く読み、熟考して作品の内奥にひたすら迫り、作曲家の魂を代弁することに意義を見出すことを信条としていますから」

コバケンさんの音楽は第1音から聴き手を作品の内奥へと強烈な力で引き込む。彼は何度演奏した作品でも初めて指揮するような新鮮な思いをもってタクトを振る。今回のリストとベートーヴェンは、自家薬籠中の作品。ひとつひとつの音を心に刻み込みたい。

助成:
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

■ 好評発売中

・2022/2023 春季東京定期演奏会 1回券
・2022/2023 春季横浜定期演奏会 1回券

第245回芸劇シリーズ

2023年3月18日（土）16：00開演
東京芸術劇場

『題名のない音楽会』でもおなじみのエリック・ミヤシロ・中川英二郎・本田雅人が結成した日本フィル×SUPER BRASS STARSが誇るトランペッター、オッタビアーノ・クリストーフォリによる魅惑のステージ

2023年春季セット券

詳細は挟み込みをご覧ください。

コバケン・ワールドVol.33

2023年3月26日（日）14：00開演
東京芸術劇場

指揮：小林 研一郎［桂冠名誉指揮者］
チェロ：堤 剛

チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲
ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》他

■ 本日の公演はカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のままで撮影をお願いいたします。

フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は山崎浩太郎氏の登場です。**土曜日13：20～**

■ もうすぐ発売

2023年2月3日（金）発売

第400回名曲コンサート

2023年5月21日（日）14：00開演
サントリーホール

指揮：ピエタリ・インキネン［首席指揮者］
ソプラノ：森谷 真理　アルト：池田 香織
テノール：宮里 直樹　バリトン：大西 宇宙
合唱：東京音楽大学

【ベートーヴェン・ツィクルスVol.6】
シベリウス：交響詩《タピオラ》
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

2023年2月16日（木）発売

コバケン・ワールドVol.34～363公演セット券

指揮：小林研一郎［桂冠名誉指揮者］

Vol.34：2023年 6 月4日（日）14：00開演
サントリーホール

ピアノ：小山 実稚恵
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番、交響曲第5番

Vol.35：2023年9月24日（日）14：00開演
東京芸術劇場

ピアノ：仲道 郁代
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
ブラームス：交響曲第1番

Vol.36：2024年3月17日（日）14：00開演
サントリーホール

フルート：真鍋 恵子［日本フィル首席奏者］
ドビュッシー：小組曲
モーツァルト：フルート協奏曲第2番
ベルリオーズ：幻想交響曲

■ お詫び

12月東京定期演奏会プログラムのP31の6月横浜定期演奏会の指揮者お写真が誤って掲載されておりました。お詫びいたします。

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

12月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。
（50音順・敬称略）関 兼英、中尾 純子、永田 純一、匿名10名

ご寄付の方法　ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演 1 週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター　〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL：03-5378-5911（平日11 時～17 時）　FAX：03-5378-6161（24時間）　E-mail：order-ticket@japanphil.or.jp

人、音楽、自然――日本フィルのテーマです。
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
楽団創立 1956 年 6 月

創立指揮者　渡邉 曉雄
桂冠名誉指揮者　小林 研一郎
名誉指揮者　ルカーチ・エルヴィン
名誉指揮者　ジェームズ・ロッホラン
客員首席指揮者　ネーメ・ヤルヴィ

首席指揮者　ピエタリ・インキネン
桂冠指揮者 兼 芸術顧問　アレクサンドル・ラザレフ
フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）　広上 淳一
首席客演指揮者　カーチュン・ウォン

ソロ・コンサートマスター：扇谷　泰朋
ソロ・コンサートマスター：木野　雅之
ソロ・コンサートマスター：田野倉雅秋
アシスタント・コンサートマスター：千葉　清加
第1ヴァイオリン：伊藤　太郎　太田　麻衣　九鬼　明子　齋藤　政和　榊　渚　竹歳　夏鈴　谷崎　大起　田村　昭博　中谷　郁子　西村　優子　平井　幸子　本田　純一
第2ヴァイオリン：遠藤　直子　大貫　聖子　岡田　紗弓　加藤　祐一　神尾あずさ○　川口　貴　佐藤駿一郎　末廣　紗弓　豊田　早織　町田　匡　山田　千秋
ヴィオラ：安達　真理☆　小俣　由佳　小中澤基道　児仁井かおり　高橋　智史　中川裕美子　中溝とも子　松澤　稚奈
ソロ・チェロ：菊地　知也
チェロ：石崎　美雨　伊堂寺　聡　江原　望　大澤　哲弥　久保　公人　山田　智樹　横山　桂
コントラバス：鈴村　優介　髙山　智仁◎　成澤　美紀　宮坂　典幸○　山口　雅之
フルート：齋藤　光晴　難波　薫　真鍋　恵子◎
オーボエ：佐竹　真登　杉原由希子◎　松岡　裕雅○
クラリネット：伊藤　寛隆◎　楠木　慶○　照沼　夢輝　堂面　宏起
ファゴット：大内　秀介　鈴木　一志◎　田吉佑久子○　中川日出鷹
ホルン：伊藤　舜　宇田　紀夫　信末　碩才◎　原川翔太郎　丸山　勉☆　村中　美菜
ソロ・トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ
トランペット：大西　敏幸◎　中里　州宏　中務　朋子　星野　究
トロンボーン：伊藤　雄太◎　岸良　開城○
バス・トロンボーン：中根　幹太
テューバ：柳生　和大
ティンパニ：エリック・パケラ◎
パーカッション：大河原　渉
ハープ：松井　久子

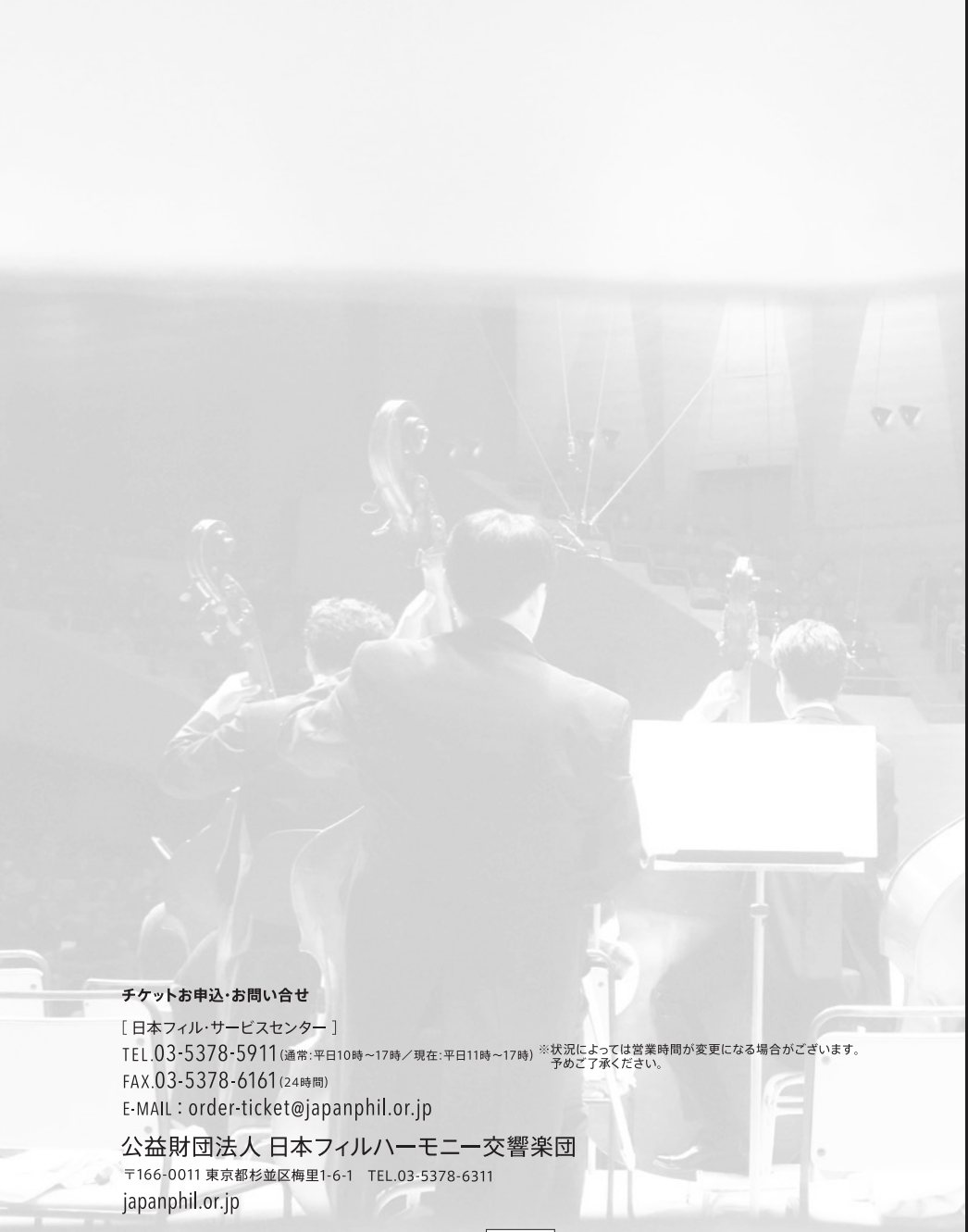
楽団長：中根　幹太
チーフステージマネージャー：阿部　紋子
ステージスタッフ：長橋　健太　森田　大翔
チーフインスペクター：佐藤駿一郎
インスペクター：宇田　紀夫　鈴村　優介
ライブラリアン：鬼頭さやか　杉本　哲也

◎首席奏者　○副首席奏者　☆客演首席奏者　□試用期間

理事長（代表理事）：平井　俊邦
副理事長（代表理事）：五味　康昌
常務理事（代表理事）：後藤　朋俊
常務理事（代表理事）：中根　幹太
常務理事（代表理事）：福井　英次
理事：石井啓一郎／遠藤　滋　佐々木経世／田村　浩章　戸所　邦弘／福本ともみ
監事：上條　貞夫／福澤　宏哉
評議員会会長：加藤　丈夫
評議員：青井　浩／安孫子　正　荒蒔康一郎／石塚　邦雄　石村　等／稲垣　尚　内川　清雄／大塚　宣夫　海堀　周造／梶浦　卓一　河北　博文／喜多　崇介　木村　惠司／久保田　隆　小林研一郎／島田　精一　津田　義久／西澤　豊　野間　省伸／葉田　順治　村上典吏子／山口多賀幸
名誉顧問：熊谷　直彦
名誉顧問：島田　晴雄
名誉顧問：田邊　稔
アドバイザリー・ボード：大島　剛／小野　敏夫　小網　忠明／後藤　茂　武田　隆男／田邊　稔　溝口　文雄
コミュニケーション・ディレクター：マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ：淺見　浩司／磯部　一史　江原　陽子／及川ひろか　小川紗智子／荻島　里帆　賀澤　美和／柏熊由紀子　小須田　萌／佐々木文雄　澤田　智夫／篠崎めぐみ　清水佑香子／杉山　綾子　杉山まどか／高橋　勇人　田中　正彦／槌谷　祐子　中村沙緒里／西田　大輔　長谷川珠子／藤田　千明　別府　一樹／益滿　行裕　宗澤　晶子／山岸　淳子　吉岡　浩子
シニア・パートナー：新井康允／伊波　睦　永島義郎／南部洋一

団友：
青柳　哲夫／青山　均／赤堀　泰江　新井　豊治／石井啓一郎／伊藤　恒男　伊波　睦／遠藤　功／遠藤　剛史　大石　修／大川内　弘／大味　修　筧　美知子／金本　順子／蒲谷　隆行　川口　和宏／菊田　秋一／吉川　利幸　木村　正伸／小林　俊夫／小山　清　斎藤　千種／佐々木裕司／佐藤　玲子　菅原　光／髙木　裕子／髙木　雄司　高木　洋／高倉　理実／田沢　烈　立川　和男／堂阪　俊子／富樫　尚代　豊田　尚生／中川　二朗／永田　健一　中務　幸彦／奈切　敏郎／橋本　洋　畑井紀代子／平賀　法子／福島　喜裕　松本　克巳／松本　伸二／三本　克郎　宮武　良平／三好　明子／森　茂　山下　進三／山科　淑子／山本　辰夫　渡辺　哲雄

（2023年1月1日現在）



チケットお申込・お問い合せ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(通常：平日10時～17時／現在：平日11時～17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

FAX.03-5378-6161(24時間)

E-MAIL：order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1　TEL.03-5378-6311

japanphil.or.jp

公式Twitter @Japanphil

公式アカウント

BS朝日 5 「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA SUBSCRIPTION CONCERTS Vol.747

第747回 東京定期演奏会